

## 4 人材育成活動

### 地域活性化プランナー学び直し塾

#### 1. はじめに

本学では、平成 18 年度から包括協定を締結している県内自治体と「淡海地域政策フォーラム」を組織し、分権時代にふさわしい行政職員学び直し塾を開始した。それは文部科学省の「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択され、平成 19 年度から 21 年度までの3年間取り組み、平成 22 年度からは、包括協定締結自治体と共同で「地域活性化プランナー学び直し塾」として実施している。

本塾は、地域は生活に身近であることから、その態勢とは行政と市民が協働して共に治める地域ガバナンスの確立だという認識のもと、地域ガバナンスの中核として期待される行政職員、NPO 職員、社会的市民(地域活性化プランナー)の地域政策の立案能力向上を目的として、実践的な教育研修を行うものである。

本稿は、第 11 期となる平成 29 年度の状況について報告するものである。

図表1 地域活性化プランナー学び直し塾のこれまでの歩み

年	年度	主なトピックス	修了生数		
			自治体	その他	計
1	H19 (2007)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の採択を受け、学び直し塾を開始。</li> <li>・初年度のため、9月に開講、3月に地域政策シンポジウムを実施。</li> <li>・政策テーマは「協働」、「NPM(ニューパブリックマネジメント)」、「地域ガバナンス」。</li> </ul>	21	1	22
2	H20 (2008)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月開講、2月に地域政策シンポジウムを実施。</li> <li>・現地視察研修を開始、米原市で実施。</li> </ul>	19	7	26
3	H21 (2009)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月開講、2月に地域政策シンポジウムを実施。</li> <li>・湖南市で現地視察研修を実施。</li> <li>・文部科学省の支援が終了、包括協定連携自治体と大学、一般参加者からの受講料負担により次年度以降の継続を決定。</li> </ul>	19	6	25
4	H22 (2010)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東近江市で現地視察研修を実施。</li> </ul>	15	7	22
5	H23 (2011)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛荘町で現地視察研修を実施。</li> <li>・OB会を設置。</li> <li>・今年度以降、一般財団法人滋賀県市町職員互助会からの寄付を受託。</li> </ul>	18	3	21
6	H24 (2012)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎塾長退任、石井塾長就任。</li> <li>・草津市で現地視察研修を実施。</li> <li>・テーマ開発を行うために企画委員会を設置。</li> <li>・OB会鎌倉視察研修実施。</li> </ul>	17	2	19

7	H25 (2013)	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策テーマのうち「協働」を「共生社会」に変更。</li> <li>高島市で現地視察研修を実施。</li> <li>OB 会鎌倉視察研修実施</li> </ul>	17	12	29
8	H26 (2014)	<ul style="list-style-type: none"> <li>彦根市で現地視察研修を実施。</li> </ul>	20	7	27
9	H27 (2015)	<ul style="list-style-type: none"> <li>政策テーマに「地域産業」を加え、「共生社会」、「地域産業」、「NPM」、「地域ガバナンス」の4テーマで実施。</li> <li>長浜市で現地視察研修を実施。</li> <li>山崎前塾長が名誉塾長に就任。</li> <li>OB 会を再編し、しが地域活性化プランナーズネットSPN設置。</li> <li>シンポジウムでのグループ発表において「最優秀政策提言賞」を設置。</li> </ul>	18	6	24
10	H28 (2016)	<ul style="list-style-type: none"> <li>大津市で現地視察研修を実施。</li> <li>10周年を記念し、シンポジウムにて滋賀大学位田隆一学長が基調講演</li> </ul>	17	8	25
11	H29 (2017)	<ul style="list-style-type: none"> <li>データサイエンス学部の設置と関連し、同学部和泉先生による地域データ分析講座を開始</li> <li>米原市で現地視察研修を実施</li> </ul>	17	5	22
合計			198	64	262

## 2. 学び直し塾の特徴

学び直し塾の特徴は、次のとおりである。

### (1) 講義とワークショップの組み合わせ

政策科学の最新理論を講義形式で提供した後、3つのグループに分かれ、具体的なテーマでのワークショップを実施し、テーマに基づく政策案を立案する。立案政策案の実現能力向上のためのプレゼンテーションを経て、公開のシンポジウムで報告し、多くの人々と意見交換する。こうしたプロセスにより政策形成の能力向上を図っている。

### (2) 現地視察研修

現場感覚を体感するための現地視察研修を設定し、研修内容に厚みを持たせている。

### (3) 認定委員会による資格認定

「地域活性化プランナー認定委員会」を設け、レポート、出席率、受講中の態度などを総合的に評価し、修了者に対し「地域活性化プランナー」として資格認定(滋賀大学からの履修証明)を行う。

### (4) 政策案の公表等

4つのグループで提案された立案政策案を報告し、自治体の政策形成に役立ててもらう。

## 3. 平成 29 年度実施成果

## (1) 平成 29 年度実施プログラム

図表2のとおりである。

図表2 平成 29 年度実施プログラム

日 時	内 容	場 所
H29. 6. 8 (木) 14:00~15:00	第 1 回 開校式(オリエンテーション)	滋賀大学 土魂商才館(彦根)
15:00~17:30	地域政策とは<理論編>	滋賀大学 土魂商才館(彦根)
6. 22 (木) 18:30~20:30	第 2 回 多様な主体による政策づくり<理論編>	大津サテライトプラザ
7. 6 (木) 18:45~20:45	第 3 回 地域データ分析入門<理論編>	滋賀大学情報処理センター(彦根)
7. 20 (木) 18:30~20:30	第 4 回 政策形成の進め方<理論編>	大津サテライトプラザ
7.28(金)午後- 7.29(土)午前	第 5 回 現地視察研修	米原市内
8. 10 (木) 14:40~18:30	第 6 回 パワーポイント研修(希望者)	滋賀大学 情報処理センター(彦根)
18:45~21:00	中間ワークショップ	滋賀大学 大会議室(彦根)
8. 24 (木) 18:30~20:45	第 7 回 政策分析 1<実践編>	大津サテライトプラザ
9. 7 (木) 18:30~21:00	第 8 回 政策分析 2<実践編>	大津サテライトプラザ
9. 21 (木) 18:30~21:00	第 9 回 政策分析 3<実践編>	大津サテライトプラザ
10. 5 (木) 18:30~21:00	第10 回 政策分析 4<実践編>	大津サテライトプラザ
10.19 (木) 18:30~21:00	第11 回 中間講評<実践編>	大津サテライトプラザ
11. 4 (土) 10:00~17:00	第12 回 政策分析 5(集中議論)<実践編>	大津サテライトプラザ
11.16 (木) 18:30~21:00	第13 回 政策分析 6<実践編>	大津サテライトプラザ
11.30 (木) 18:30~21:00	第14 回 政策分析 7<実践編>	大津サテライトプラザ
12.14 (木) 18:30~21:00	第15 回 立案政策案のプレゼンテーション<実践編>	大津サテライトプラザ
H30.1. 27 (土) 13:00~17:00	第16 回 シンポジウム(修了式)	米原市内

政策分析は4グループで実施した。全体テーマを「地域からの地方創生」とし、次の4つのテーマで政策分析を行った。

- 共生社会「放課後の子どもの居場所を考える」
- 地域産業「農福連携による農業の新たな展開を考える」
- ニューパブリックマネジメント(NPM)「民間委託の評価について考えるー窓口業務を例にー」
- 地域ガバナンス「災害に強い地域づくりを考える」

## (2) 担当講師

石井 良一<滋賀大学 社会連携研究センター 教授/学び直し塾 塾長>:地域産業グループ主任

阿部 圭宏<滋賀大学 社会連携研究センター 客員教授/学び直し塾 副塾長>:地域ガバナンスグループ主任

北村 裕明<滋賀大学 理事・副学長>:共生社会グループ主任

横山 幸司<滋賀大学 社会連携研究センター 教授>:NPM グループ主任

加納 圭 (滋賀大学 教育学部准教授)

今井 久人<滋賀大学 社会連携研究センター客員准教授>

壬生 裕子<滋賀大学 社会連携研究センター客員研究員/同志社大学政策学部嘱託講師>

仲野 優子<滋賀大学 社会連携研究センター客員研究員/特定非営利活動法人 しが NPO センター専務理事>

(3) 受講生及び地域活性化プランナーの認定

包括協定締結自治体などへの参加の呼びかけ、NPO 等への公募を行った結果、受講生は 23 名(自治体職員 18 名、NPO スタッフ、市民等5名)を得て実施した。このうち、修了基準を満たした 22 名(自治体職員 17 名、NPO スタッフ、市民等5名)を地域活性化プランナーとして認定した。

修了式の様子



(4) しが地域活性化プランナーズネット SPN 交流会の実施

1期～10期で合計 233 名が学び直し塾を修了し、地域の現場で活躍している。平成 27 年8月に設立した「しが地域活性化プランナーズネット SPN」では、学び直し塾の現地視察、修了式に合わせて交流会を実施し、修了後の横のネットワークの強化を図った。

(5) テーマ検討委員会の開催

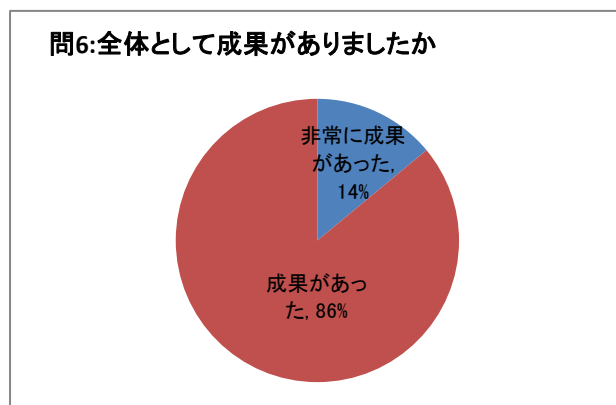
次年度の実践課題テーマを検討するために、3月に学び直し塾 OB を加え、テーマ検討委員会を開催し、助言を頂いた。

4. 受講生の評価

受講生を対象に、本塾へのアンケートを実施した。授業の回数、難易度、課題やレポート等の作業量、評価、成果等について率直な意見が寄せられた。すべての受講生が「非常に成果があった」、「成果があった」と評価している。なお、研究成果については、滋賀大学社会連携研究センターホームページで公開している。

図表3 受講者の評価

問 6: 全体として成果がありましたか		
1.	非常に成果があった	2
2.	成果があった	13
3.	あまり成果がなかった	0
4.	成果がなかった	0
5.	その他	0



#### 4. 人材育成活動

---

- ・パワーポイントの使い方が上達した
- ・知らない分野を深く研究し、新たな知識や政策立案の手法を身に付けることができた。
- ・通常の業務の中では、触れることのなかった問題について考える貴重な機会になりました。
- ・私個人として、新たなお縁もできテーマについて、さらに深めることができました。
- ・日頃の業務ではできない経験をさせてもらうことができた。学ぶことも多く、最優秀賞ももらうことができたのでとてもよかったと思う。
- ・具体的で実現性の高い提言にまとめることができた。情報収集、市民識者へのヒアリング、論理展開や討議の進め方など政策立案に必要な経験を積むことができたと考える。提言が政策として具体化できるところまで繋がればなお良かった。
- ・人を説得するために必要な基本的知識が備わったと思う。
- ・現状での行政が抱える課題や問題点を確認することができた。
- ・貴重な経験をすることができました。
- ・グループワークは苦行に近い思いであったが、苦しさの先には、授業からの全体としては、知らないことをたくさん学び、成果があった。
- ・所属等の違うメンバーが数か月に渡ってひとつのことを討議するという機会はないため、連絡調整も含め貴重な体験ができた。
- ・普段関わらない人と同じグループになって、同じ課題について学んだり意見を出し合ったりする機会は無かったのでとても勉強になりました。

#### 5. 今後に向けて

今年度は23名の参加者で、4グループに分かれて精力的に政策分析に取り組んだ。いずれも困難なテーマであり、当初は意見の集約化に手間取る場面も見られたが、結果的にはどのグループも行政と市民の差、地域の差を乗り越えて、活発な議論が展開され、優れた政策提言を行うことができた。

学び直し塾のいい点は多様な人材が集まる点であり、今後とも質を落とさず、魅力的な講座となるよう努力していきたい。

(文責 教授 石井 良一)